

「板橋区DX推進計画2025」後期実施計画の令和6年度実績報告について

1 主な成果

【ビジョン①】ICTを活用した官民の連携強化や、業務の効率化をめざします 【ビジョン②】ICTを活用し、更なる区民サービスの向上を図りますを基に、5つの基本方針と3つの推進体制強化を掲げ、17施策を実施。

【ビジョン①】ICTを活用した官民の連携強化や、業務の効率化をめざします

【基本方針Ⅰ】業務の改善・効率化：2施策

●RPA・AI活用

・RPA

令和6年度目標：1,300時間削減 **実績：1,644時間削減**

・生成AI実証実験

精度の高い回答を導き出す仕組み「RAG（ラグ）」の精度検証を実施。

●テレワークの実施

令和6年度目標：2,400回以上 **実績：3,618回**



【基本方針Ⅳ】データの利活用：2施策

●GPSツールによる人流データ分析

令和6年度目標：5回以上 **実績：13回実施**

・公共施設（美術館、植物館、生涯学習センター等）の来訪者分析 等

●区保有データの公開

BIツール（業務データを分析及び可視化し、意志決定に活用する仕組み）を利用した区決算ダッシュボードをWEB公開



【ビジョン②】ICTを活用し、更なる区民サービスの向上を図ります

【基本方針Ⅲ】

オンライン化に伴う利便性向上：5施策

●オンライン申請数

令和6年度目標：43,000件

実績：122,609件

●キャッシュレス決済拡大

対応窓口3か所拡大（課税課窓口、下赤塚区民事務所、赤塚支所）



【基本方針Ⅱ】

マイナンバーカードの普及・活用：1施策

●コンビニでの各種証明書発行

令和6年度目標：160,000件

実績：227,739件

●マイナンバーカード利活用（公的個人認証機能）

令和6年度目標：オンライン申請での利用拡大
実績：24,772件（6,147件増）



【基本方針Ⅴ】

デジタルデバイス対策：1施策

●スマホ相談会

令和6年度目標：参加人数5,600人以上

実績：参加人数8,105人

●コミュニケーション支援機器試験導入

タブレット通訳システム（多言語、音声筆談、手話通訳）5台導入（戸籍住民課、障がい政策課、板橋・志村・赤塚福祉課）



推進を下支え

【推進体制強化Ⅰ】

推進体制の構築：2施策

●よろず相談DX

令和6年度目標：相談件数30件以上

実績：相談件数81件

令和6年度目標：事業化10件以上

実績：事業化34件



【推進体制強化Ⅱ】

デジタル人材の育成・確保：1施策

●DX推進に向けた各種研修

令和6年度目標：受講人数670人以上

実績：受講人数956人

●デジタル人材の確保

特定の専門分野の人材を育成する複線型人事制度（IT）認定者3名、新規採用職員（ICT職）5名



【推進体制強化Ⅲ】

ツールの拡充：3施策

●電子申請システム機能追加・活用

電子申請システムにオンライン決済機能（住民票等各種証明書発行の申請）14手続きを追加

●AI-OCR配備・活用

12業務に新規導入



2 評価

施策の全てが、令和6年度計画事業量を達成する実績を示しており、計画どおり実施されている。基本方針及び推進体制強化ともに掲げた目標に対して、着実に進捗していると評価する。

方 針		評価別件数	
		達成+	達成
基本方針	I：業務の改善・効率化（2施策）	1施策	1施策
	II：マイナンバーカードの普及・活用（1施策）	0施策	1施策
	III：オンライン化に伴う利便性向上（5施策）	1施策	4施策
	IV：データの利活用（2施策）	0施策	2施策
	V：デジタルデバインド対策（1施策）	0施策	1施策
推進体制強化	I：推進体制の構築（2施策）	1施策	1施策
	II：デジタル人材の育成・確保（1施策）	1施策	0施策
	III：ツールの拡充（3施策）	0施策	3施策
計（17施策）		4施策	13施策

C I O補佐事業者からのコメント

板橋区では、「DX推進計画2025」にて、令和7年度までの後期実施計画を定め、DXを推進している。令和6年度進捗状況においては、全てが「達成」となっており、各施策を通じて、着実に区民サービス向上へとつなげている。注目すべき取組として、IT推進課による「よろず相談」は、各所管課のDX事業実現に向けた伴走支援として、大きな成果を上げており、具体的な事業化に結び付けている。また、庁内のデジタル活用促進のため、事業者によるサービス紹介や職員によるセミナーなどのイベントが開催されており、これら創意工夫に富んだ取組は、区全体のDX推進を後押ししている。

今後は、デジタル環境の急速な変化に対応しつつ、各所管課が主体性をもって業務改革を進め、併せて人材育成においても注力していくことが重要となる。区のDX推進がさらに加速するよう、積極的に必要な助言、支援を行っていきたい。



職員向けイベント「Itabashi DX Collection」での職員によるセミナーの様子